

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立板橋有徳高等学校 学校運営連絡協議会(定時制課程)
- (2) 事務局の構成 副校長＝事務局長、教務主任＝事務局
- (3) 内部委員の構成  
副校長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任、経営企画室長 計5名
- (4) 協議委員の構成  
近隣自治会役員(2町会2名)、高島平警察署員、保護者代表 計4名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会(第1～3回)の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年6月13日(金) 午後3時から午後3時45分で本校校長室にて開催  
出席者 近隣地域町会役員2名、高島平警察署員1名、校長・本校内部委員6名 計8名  
校長あいさつ、各委員の自己紹介  
協議委員委嘱、評価委員の委嘱  
学校運営連絡協議会趣旨説明、学校経営計画・報告について  
本校の教育活動、生徒の現状報告、各分掌及び経営企画室の経営方針について  
「有徳だより33号」
  - 第2回 令和7年11月28日(金) 午後3時から午後4時10分で本校校長室にて開催  
出席者 近隣地域町会役員2名、高島平警察署員1名、校長・本校内部委員5名 計7名  
学校の現状について(教育活動、生徒の現状報告、各分掌の中間状況について)  
学校評価アンケートの実施について  
教育活動に対する学校評価の内容について  
「有徳だより34号」「有徳だより35号」「令和8年度入学生学校案内」
  - 第3回 令和8年2月13日(金) 午後3時から午後3時50分で本校校長室にて開催  
出席者 近隣地域町会役員2名、高島平警察署員1名、校長・本校内部委員5名 計8名  
学校評価アンケート結果について  
本校の教育活動、成果と課題の報告について  
「有徳だより36号」
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
令和8年2月3日(火) 紙面開催(電話連絡)  
今年度の学校評価の結果、協議委員の評価

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象: 51人 回収: 47人 回収率: 92.2%
  - ・12月 保護者全員 対象: 51人 回収: 31人 回収率: 60.8%
  - ・1月 地域・住民 対象: 75人 回収: 50人 回収率: 66.7%
  - ・12月 教職員 対象: 10人 回収: 10人 回収率: 100%
- (3) 主な評価項目  
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフワークバランス
- (4) 評価結果の概要(校長や学校全般への意見・提言内容)  
学校に対する満足度(無回答を除く全体数からの割合)
  - ・生徒 Q20【全体として「この学校に通ってよかった」「自分が成長した」と感じていますか。】
  - ・保護者 Q20【全体として「本校に子どもを通わせてよかった」と感じていますか。】

- ・地域 Q08【本校の教育が、地域のニーズに対応した人材育成につながっていると思いますか。】

以上の3問の肯定的な回答 A 及び B の割合で満足度とすることとしている。

集計結果(無回答を除く全体数からの割合)(A:はい、と思う。B:どちらかといえば思う。)

- ・生徒用アンケート Q20: 93.6% (昨年 95.7%、一昨年 91.4%)
- ・保護者用アンケート Q20: 96.6% (昨年 92.3%、一昨年 100%)
- ・地域用アンケート Q08: 100% (昨年 94.1%、一昨年 73.1%)

※保護者及び地域アンケートは回答「わからない」を除いて集計

#### (5) 評価結果の分析・考察(校長や学校全般への意見・提言)

- ・回収率は全体として上昇した。特に保護者(+9.9pt)、地域(+12.0pt)が伸長した。
- ・学校満足度は、生徒 93.6%、保護者 96.6%、地域 100%と極めて高水準を維持した。生徒は前年度比で微減も9割超を保った。
- ・高満足の背景に、少人数・習熟度別授業、4年間を見通したキャリア教育計画、通信制併修・資格の単位認定、進路相談・面接・小論文等の個別支援がある。
- ・生活面では、特別支援教育コーディネーターとスクールカウンセラーを核とした校内横断の支援体制により、安心・安全な学習環境を維持した。
- ・公開授業や協議会、文化祭等による情報発信の強化が、保護者・地域の理解と満足度の向上につながった

### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校の自己評価へ反映)

#### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・保護者および地域との協働が進み、生徒の成長を支える体制が強化された。
- ・少人数・習熟度別授業を推進し、学習の定着と自己効力感の向上を図った。
- ・面接・小論文等の個別支援を系統化し、学びと進路の接続を強化した。
- ・少人数の特性を生かしたきめ細かい指導と外部専門家との連携により早期把握→個別支援→検証の流れを定着させ、生徒一人ひとりのニーズに即した支援を提供できた。
- ・学校行事(宿泊校外学習・文化祭等)の充実により、生徒の自己有用感や主体性が高まった。

#### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒満足度の微減要因(授業の分かりやすさ・行事の充実度・設備修繕の迅速性・給食・安全対策)を設問別に精査し、改善策を具体化する必要がある。
- ・地域アンケートにおける「分からない」の選択を抑制するため、公開授業や行事案内、学校ホームページの記事更新を計画的に行う必要がある。
- ・近隣住民から要望のある「学校開放事業の拡大」について、対象・時間帯・利用規約・管理体制・危機管理等の観点から拡大可否を検討する必要がある。

### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

- (1) 授業改善:各教科の実情に応じて視点の共有を図り、自己評価・相互参観・生徒アンケートを引き続き実施して、見直しを重ねる。
- (2) 生徒支援:既存の体制を基盤として、必要に応じて校内外の更なる連携強化を図る。
- (3) 情報発信:学校ホームページや校内外の案内を中心に、状況に応じて分かりやすさの工夫を続ける。
- (4) 環境整備:実態把握と校内共有を心がけ、可能な範囲で改善の機会を的確に捉える。

### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

#### (1) 協議委員人数4人

#### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数5名回答(アンケート結果において)

| そう思う | 多少そう思う | どちらとも言えない | あまり<br>そう思わない | そう思わない | 分からない | 無回答 |
|------|--------|-----------|---------------|--------|-------|-----|
| 4    | 0      | 0         | 0             | 0      | 0     | 0   |

### 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

協議委員の職員会議及び企画調整会議への参加はなし。